



子どもは風の子の季節の到来です。

風邪のウイルスも負けてはいません。規則正しい生活バランスの良い食事により体力をつけ、ウイルスに勝つように、園でも家庭でも体調には特に気を配りましょう。



●冬を快適に過ごすためのポイント

★室温は暑すぎず、寒すぎず

12~18℃を目安に、動きの少ない2歳児までは高めに、活発な3歳児以上は低めに設定するといいでしょう。



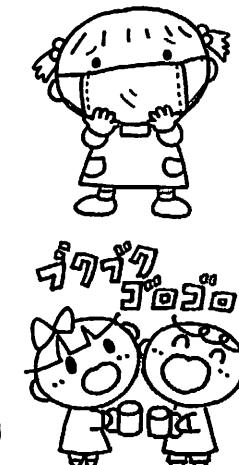
★湿度は50~60%前後に

乾燥しやすいので、加湿器などをじょうずに使い、湿度を保ちましょう。インフルエンザの増殖しない湿度です。



★換気もこまめに

寒すぎない程度に、1~2時間に1回ほど、定期的に窓を開け、部屋の換気をしましょう。



★子どもの状態にあった服装に

子どもの体調によって衣服を調節するよにしましょう。室内でははだしでも、靴を履くときは、靴下も履いたほうがいいでしょう。はだしで靴を履くと、足がむれたり、皮膚の乾燥などのトラブルが起きやすくなります。



太陽の子保育園平成17年12月



トピックス

麻疹（はしか）・風疹（ふうしん）ワクチン接種の変更 —受け損ねている子どもにはいまのうちに—

1歳のお誕生日を過ぎたらなるべく早めに（生後12~15か月）麻疹のワクチンを、続いて風疹のワクチンを受けて下さい、というのがこれまでの国の勧め（定期接種）で、この期間に受け損ねた子どもたちは生後90か月までに定期接種として受けて下さい、というものでした。

最近麻疹も風疹もずいぶん少なくなりましたが、まだ地域的な小流行が時に見られ、麻疹で入院したり、妊娠から胎児に感染がおよぶ先天性風疹症候群の発生が続いています。

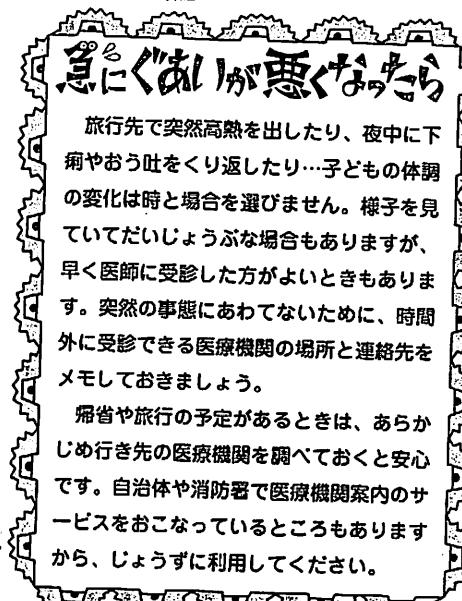
麻疹については2012年までに日本を含むアジア太平洋地域からゼロに近くすることがWHO会議で採択されました。風疹についてもこれに平行して日本から先天性風疹症候群をゼロに近づけることが考えられました。そのために麻疹と風疹のワクチンはこれまでのそれぞれ1回の接種から、世界標準である2回接種に切り替えられることになりました。それに

伴って、麻疹と風疹の混合ワクチン（MRワクチン）の導入も決められました。1回目のMR接種は1歳代に、2回目のMR接種は小学校入学前の1年になります。

この変更に伴い、これまで麻疹、風疹のワクチンを受けないままになっている子どもたち、ことに平成18年4月以降に2歳を超える、あるいは7歳半を超える子どもたちは、定期接種としての麻疹、風疹ワクチンの接種の機会が来年4月からなくなることになるので、なるべく早くワクチンを受けて下さい。

なお麻疹・風疹のワクチン接種を別々に受けると、その子たちが小学校入学前にはMRワクチンを受けられないという法律の規定に今はなっていますが、この制限は一時的なものであり実施から2~3年の間に解消される計画となっています。

（国立感染症研究所感染症情報センター 岡部信彦）



旅行先で突然高熱を出したり、夜中に下痢やおう吐をくり返したり…子どもの体調の変化は時と場合を選びません。様子を見ていてだいじょうぶな場合もありますが、早く医師に受診した方がよいときもあります。突然の事態にあわてないために、時間外に受診できる医療機関の場所と連絡先をメモしておきましょう。

帰省や旅行の予定があるときは、あらかじめ行き先の医療機関を調べておくと安心です。自治体や消防署で医療機関案内のサービスをおこなっているところもありますから、じょうずに利用してください。

